

龍城球魂



平成14年度を振り返って

十四年度は、正副部長、監督が定期異動により交替し、新たな体制で春の東都大会に臨んだ。結果は第一シードの富士宮東に四対五と惜しくも敗れたが、集中力と粘り強さを発揮し、夏への期待が高まった。

一回戦、掛川東に三対一で勝利し、二回戦は古豪島田商業との対戦となった。投打のバランスが噛み合い、七回表の攻撃で七点差とし、コールド勝ちかと思われたが、その回の裏からゲームの流れが大きく傾いた。七回裏に五点失い、最終回にも五点を奪われ、劇的なサヨナラ負けとなった。島田球場でなければ結果は異なっていたかもしれないが、多くの反省材料とともに多くの感動を得た、印象深い試合であった。



平成十五年三月
葦山高校野球部OB会事務局

平成13年度OB会事業報告

(平成13年8月1日～平成14年7月31日)

1 活動状況(主な行事)

- 平成13年9月8日 平成13年度OB総会
- 平成14年3月20日 野球部年報・OB会報「龍城球児」第5号発行
- 平成14年3月21日 卒業生OB会入会式
- 平成14年4月6日 野球部新旧部長・監督歓迎会(父母会主催)
- 平成14年5月11日 新入部員父母会歓迎会(父母会主催)
- 平成14年7月7日 夏の県大会激励会(父母会主催)

2 会員数及び会費納入状況

- 名簿搭載 568名 (うち所在不明・永眠者81名)
 - 実質会員 487名
 - 会費納入
 - 本年度分 163名 684千円
 - 過年度分 30名 93千円
- (平成14年7月31日現在)

収支決算報告書

収支決算書(平成13年8月1日～平成14年7月31日)

単位:円

| 収入の部 | 金額 | 摘要 | 支出の部 | 金額 | 摘要 |
|------|-----------|-----------|--------|-----------|-------------------------|
| 前期繰越 | 1,208,815 | | 部活動援助等 | 380,415 | トスバティング用マシン、バット8本、ボール3d |
| 年会費 | 777,000 | | コーチ派遣費 | 197,500 | 慶応大2名 |
| 雑収入 | 65,000 | 百周年記念誌12冊 | OB会報発行 | 94,920 | 井上氏謝金 |
| 預金利息 | 227 | 静銀普通預金 | 卒業生入会式 | 36,000 | 東海印刷 800部 |
| | | | 慶弔費 | 67,661 | 図書券 12名分 |
| | | | 通信費 | 131,470 | 慶2件、弔1件 |
| | | | 事務費 | 51,425 | 別納郵便2回、往復葉書1回 |
| | | | 雑費 | 420 | コピー、文具、事務補助 |
| | | | 次期繰越 | 1,091,231 | 振込手数料1件 |
| 合計 | 2,051,042 | | 合計 | 2,051,042 | 内、故久保氏寄附金1,000,000円 |

※送金料は各費目を含む

収支予算書(平成14年8月1日～平成15年7月31日)

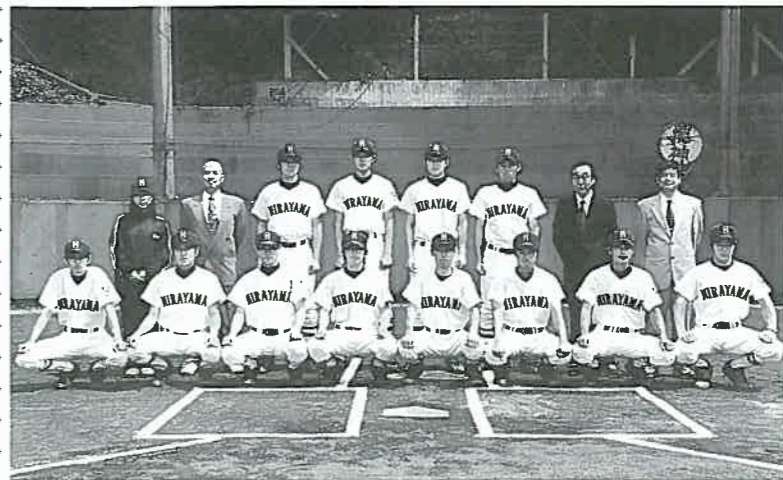
単位:千円

| 収入の部 | 14年度予算 | 13年度決算 | 支出の部 | 14年度予算 | 13年度決算 |
|------|--------|--------|------------------|--------|--------|
| 前期繰越 | 1,091 | 1,209 | 部活動援助等(コーチ派遣費含む) | 460 | 578 |
| 年会費 | 803 | 777 | OB会報発行 | 95 | 95 |
| 雑収入 | 50 | 65 | 卒業生入会式 | 39 | 36 |
| 預金利息 | 0 | 0 | 慶費 | — | 68 |
| | | | 会議費 | 50 | 0 |
| | | | 通信費 | 130 | 131 |
| | | | 事務費 | 50 | 51 |
| | | | 雑費 | 30 | 1 |
| | | | 予備費(次期繰越) | 1,090 | — |
| 合計 | 1,944 | 2,051 | 合計 | 1,944 | 2,051 |

- 発行者 葦山高校野球部OB会
- 事務局 三島市芝本町11-29
- 印刷所 レストラランじゅん内
- 写真協力 株式会社 東海印刷
- フォトスタジオ かとう光房

高校55回卒業生

特集



野球部長、副部长、監督の異動
(平成14年4月1日)

野球部長 (旧) 牧野博充先生、(新) 露木 浩先生
 副部长 関 知彦先生、寺田典生先生
 監督 古殿和彦先生、小雀浩一先生

平成14年を振り返って

監督 小雀浩一郎

日頃よりOB会の皆様におかれましては、本校野球部の活動に対し多大なるご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、今年度より前任の古殿先生の後を受けて本校に赴任いたしました。3月31日にはじめてグラウンドで選手を見たときに、思っていた以上に選手個々の能力が高く、非常に期待できるチームであると感じました。しかしながら春季大会では、選手の顔と名前が解らず、何もできないままに第1シードの富士宮東高に4-5で敗れました。選手たちはこのゲームで、リードされたゲーム展開の中でのねばり強さや、こ一番での集中力の高さを見せてくれました。そして、その後の練習試合や練習の中で多くの方々のバックアップにより自信を積み重ね、本気で甲子園を狙って夏の大会を迎えました。初戦の掛川東高戦では、苦しみながらも自分たちの思い通りの展開でゲームを進め、勝利を手にすることができました。この自信を元に「さあここからだ」という気持ちで臨んだ2回戦対島田商業、順調に得点を重ね、7回7-0、投手も好投し被安打2という安全な勝ちムードの中で、私自身の心の中に「勝った」という

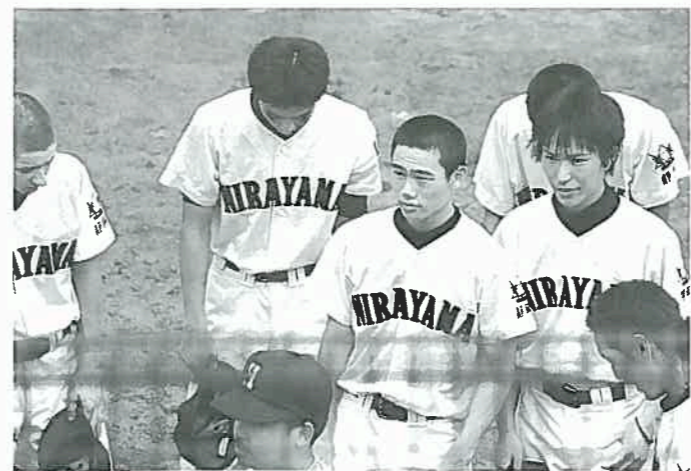
| 部長 | 露木 浩 | 出身中学 |
|-------|-------|-------|
| 副部长 | 寺田典生 | 三島北上 |
| 監督 | 小雀浩一 | 宇佐美大仁 |
| 守備位置 | 氏名 | 出身中学 |
| 二塁手 | ◎芹澤和憲 | 三島北上 |
| 投手 | 稲葉壮宏 | 宇佐美大仁 |
| 捕手 | 梶山聡司 | 三島南 |
| 投手 | 大川広人 | 修善寺 |
| 一塁手 | 上田康太 | 函南東 |
| 三塁手 | 又平リク | 三島山田 |
| 遊撃手 | 小澤 諭 | 中郷西 |
| 遊撃手 | 田中雅也 | 伊豆長岡 |
| 左翼手 | 八木崇裕 | 三島南 |
| 中堅手 | 清水大輔 | 函南東 |
| 右翼手 | 嶋津圭司 | 三島山田 |
| 右翼手 | 山本竹哉 | 三島北上 |
| マネジャー | 兼子直美 | |

一年を振り返って

部長 露木 浩

平成十四年度公式戦は同窓の小雀監督を迎えて、富士宮東高校との対戦で始まり、惜しくも一点差で惜敗、これを糧として決意も新たに、新入生の加入、総勢三十九名の混然一体となった、日々の練習に入っていました。

島田商業高校、まさかの逆転劇。ベンチでその幕切れを信じられないと茫然自失で眺めていた部員一同。その後、インタビューで投手、稲葉の悔しさを滲ませながらも毅然とした態度が、今も脳裏に浮かんでいます。本場に皆、よくやってくれました。秋の大会、一回戦は敗れたものの敗者戦で三回戦まで進んだ初々しい雄姿は今後に期待を抱かせるものでした。多くの出場機会を与えられ自分の役割とチームの和を尊び、数々の試合練習等を通して生徒は何にも代えがたい教訓を学び、成長していることと思います。一生の中でも忘れがたい貴重な財産となるでしょう。文武



両道の旗印の下、「葦高の野球」を目指し、進路実現から自己実現へと発展させて欲しいものです。終わりになりましたが、本校野球部に対しまして物心両面に渡るご支援と暖かい激励をいただき誠に有難うございます。部員、野球関係者一同感謝いたします。心より、お礼申し上げます。

三年間を振り返って

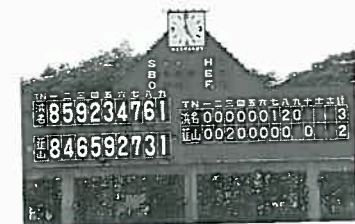
主将 芹澤和憲

三年間を振り返ると、時というものはとても速く過ぎ行くものだと痛感させられます。葦高生として野球部の門を叩いたのがつい最近のように思われます。

私達は練習試合の結果から、勝つために一層打撃に力を入れることを認識して日々の練習に努めました。目標としてはどの打順からでも長打が出るということを目指して練習に取り組みできました。また、短い練習時間で技能を高めるため、一球に対して皆が集中してプレーすることにも心がけてきました。

夏の大会は決して満足いくものではありませんでしたが、やはり自分たちの力がまだ足りなかったことを認めるしかありません。しかしこのような結果を後輩たちが彼らにとって良い経験となり良い結果に変えてくれることを望みます。

最後になりますが、御指導していただいた先生方、父兄の皆様ありがとうございました。



戦績表

平成十四年

| 試合 | 対戦校 | 結果 | 備考 |
|------|-----------|---------------|---------|
| 3/17 | 非高1対戦校 | 10-0 下田北 | 3-3 藤枝東 |
| 3/22 | 4x-3 磐田南 | 9-5 磐田南 | |
| 3/24 | 6x-5 田方農業 | 7-0 相良 | |
| 3/26 | 10-6 川口工業 | 8-2 川口工業 | |
| 3/28 | 6-3 富士宮西 | 1-4 須賀川 | |
| 3/30 | 1-9 吉原商業 | 7-4 島田工業 | |
| 4/2 | 4-5 富士宮東 | 春季東部大会回戦 | |
| 4/14 | 5-4 南伊豆 | 10-6 南伊豆 | |
| 4/21 | 3-3 富岳館 | | |
| 4/28 | 11-0 静岡工業 | 12-6 静岡工業 | |
| 4/29 | 7-3 沼津城北 | 11-7 沼津城北 | |
| 5/3 | 4-5 御殿場南 | 10-3 佐久間 | |
| 5/19 | 10-1 熱海 | 8-1 熱海 | |
| 5/26 | 7-1 沼津商業 | 龍城祭招待試合 | |
| 6/1 | 4-7 逗葉 | 11-9 逗葉 | |
| 6/2 | 14-2 三島南 | 3-5 三島南 | |
| 6/8 | 2-6 伊豆中央 | 定期戦 | |
| 6/9 | 10-0 大井川 | 4-5 大井川 | |
| 6/15 | 11-0 伊東城崎 | 12-3 伊東城崎 | |
| 6/16 | 5-1 桐陽 | 13-6 桐陽 | |
| 6/22 | 6-3 君津青葉 | 5-1 君津青葉 | |
| 6/23 | 4-8 富士宮東 | 6-8 磐田農業 | |
| 6/30 | 6-1 清水東 | 7-7 清水東 | |
| 7/6 | 2-6 下田東 | 8-9 静岡南 | |
| 7/7 | 4-1 長泉 | | |
| 7/14 | 3-1 掛川東 | 第84回選手権静岡大会回戦 | |
| 7/21 | 9-10 島田商業 | 第84回選手権静岡大会回戦 | |

野球部の指導について

監督 小雀浩一郎

今年度より監督に就任させていただきましたが、本校においてはじめての教員でOB監督ということ、その責任の重さを痛感するとともに、何とか皆様のご期待にこたえられるよう、努力して参りたいと思います。ここでは、現在韭山高校の野球部でどのような指導をしているかをご報告させていただきます、OB会の皆様にご指導、ご協力いただければと思います。

(1)指導方針

- ①「高校野球である以上、高校生がきちんとできない者に野球をする資格はない」というのが私の考え方の基盤にありますので、勉強をはじめとする学校生活との両立を基本としています。
- ②「将来の社会におけるリーダーの育成」が本校教育の使命であると考えているので、自ら考え、主体的に活動する部活動でありたいと思っています。
- ③「地域に愛されるチーム作り」を目指しています。本校野球部は、地域・OB会・父母会・学校関係者など様々な方々に応援されて成り立っています。そういったこと

を理解した上でさらに周囲の人々から愛される野球部でありたいと考えています。以上のような方針で部活動の運営を行い、韭山高校らしい野球を目指しています。

「韭山高校らしい野球とは」現チームの選手と私との間での共通理解として、次の9カ条を掲げています。

- 1 野球が好きで、常に楽しんでやっている。
- 2 やるべきことを自分で考える。
- 3 割り切ったプレー。
- 4 結果は必ずついてくる。
- 5 誇りと自信を持つている。
- 6 やればできる。
- 7 感謝の気持ちを忘れない。
- 8 仲間・家族・友人・周りの人たち・先輩・後輩
- 9 いいわけをしない潔さがある。
- 10 男らしい
- 11 常に絶好調である。
- 12 プラス思考
- 13 野球がすべてではないが、すべてが野球と結びつく。
- 14 文武両道
- 15 常に日本一を目標とする。
- 16 常に日本一になる自分をイメージしている

(2)今年度の活動から

①メンタルトレーニング

夏の大会での逆転負けの反省から、メンタル面の強化を課題としてメンタル講習の導入をし、目標達成へのモチベーションアップを図りました。その結果が上記の9カ条です。選手たちも日本一をイメージし、日本一のための努力ができていたかを自問自答しながら日々練習しています。

②栄養講習

まずは身体作りが大切、ということ、OBの長倉宏行君に協力をお願いして6月の合宿時に選手と父母対象の栄養講習を実施しました。食事の重要性、水分補給がパフォーマンスに及ぼす影響などを理解し、選手たちが個々の生活に気を配り始めたことが何よりの成果であると思います。

③夏季合宿(6月)十ノック週間

6月の7・8・9日の2泊3日で合宿を行い、上記の栄養講習を実施したりしながら強化練習を行いました。照明がないので長時間の練習はできませんが、この期間(6月第1週)は、ノック週間と称してOBの方々に協力いただいた個人ノック等を多く行い、守備力の最終強化期としています。今年も同時期に予定しておりますので、特に平日に都合のつくOBの方々は是非グラウンドに足を運んでい

ただで、後輩の指導にご協力いただければと思っております(土日でも結構です)。よろしくお願ひします。



④秋季遠征合宿

今年(14年)は、県外遠征をやめて静岡市内に1泊し、焼津中央高校と静岡学園高校との練習試合を行いました。思うようなゲーム展開はできませんでしたが、攻撃力のあるチームに対してのディフェンスが課題であることが認識でき、有意義な練習試合ができました。

⑤冬季強化合宿(下田・南伊豆)

12月と1月に1泊ずつの練習合宿を行い、下田の砂浜でのランニングトレーニングなど「自分たちはこれだけやったんだ」と思えるハードなトレーニングを行うことができました。

(3)練習について

グラウンドそのものがサッカー部、陸上部との共有であるため、ウォーミングアップ、キャッチボールの後にはフリーバッティングというオーソドックスな順序で練習ができないため、練習順序、方法はかなりの工夫を強いられております。しかしながら、全体練習ではできる限り実践に近い練習をしたいと考えているので、シーズン中の練習の前半はシステム練習という呼び名の内野のみのケース練習が中心でした。1アウト1塁、1-2塁、1-3塁などの場面を設定し、走者は常に盗塁を狙い、打者はバントのみという攻撃に対してバントソフト等のディフェンスをするという練習です。大抵の場合は3グループに分け、トレーニングと平行して実施します。そして、陸上部の練習が終了する5時半頃からフリーバッティングとノックを行うのが通常練習のパターンです。こうするとどうしてもノックの量が足りなくなるので、フリーバッティングでの守備を重要視し、ケースをイメージさせた練習をしています。また、前述のノック週間や冬の個人ノックでその量を補うことを考えています。

さらに、冬場の週末には3イニングゲームという短い紅白戦を入れ、勝負にこだわる練習も行ってきました。その中で発見した課題は各チーム、個人の反省事項として、下記の各分野の練習へと生かされました。



①走塁

新チーム結成後、11月末までの最重要課題として走塁のレベルアップを掲げてきました。とくに、盗塁についてなかりの時間を割き、徹底した練習をしてきました。具体的にはここに載せることはできませんが、選手は理解してくれていると思います。また、11月からの日没が早い時期の練習では、キャンプ用の投光器を使ってベースを照らし、オーバースタンスなどを主に練習しました。さらに、OBの堀井さんから「走者の義務」として「全力で次の塁を狙う」ということなどを指導していただき、より高いレベルの走塁を知ることができました。

②打撃

12種類のカウントを理解することからはじめ、場面や相手投手、打順による攻撃の理解、カウントによる投手の心理などを考えた攻撃の実践を目指しています。現在は、フリー

バッティングに得点制を採用し、打てなければ試合出場のチャンスが減るというシステムで、打撃重視のチーム作りをしています。また、今年も年間を通して打撃練習をするというので、冬場もフリーバッティング、ハーフバッティングを継続してきました。

③守備

基本的な捕球姿勢、グラブの使い方、方を反復するところから始め、春からは実戦的なフォアメーションの確認に入っていく予定です。冬場のトレーニングと平行して、個人ノックや基本的なゴロ捕りを行い、個々の守備力アップを図ってきました。

④トレーニング

冬場は「走る」ことを軸にトレーニングを行ってきました。1日2キロダッシュすれば、ダッシュして甲子園まで行けるということで、1日2キロ以上ダッシュすることを目標に走る量を増やしました。トレーニングは継続が重要なので年間を通じて練習の中にトレーニングは入れています。しかしながら、全体練習の中ですべてのトレーニングを行うことはできず、トレーニング例などを配布して、個人の自主的な努力に委ねています。

⑤自主練習

本校ではこれを重要視しています。練習時間の確保が難しい学校では、監督の指示だけでなくプラスアルファを要求し、自ら考え、工夫する練習が大切だと考えます。しかし本校

(4)チーム作りについて

チームについての基本的な考え方として、全員で戦いたいというのが私の考えです。最初から試合に出ている9人だけでゲームをするのは、あまり理想的とは考えられません。そこで私は、ベンチにいる18人いや、スタンドも含めて部員全員で戦うんだということを常に言い続けています。さらに、全員が選手であり、監督であるべきだとも言っています。全員が作戦・戦術に関する共通理解をしていけば、全員が監督であり、私はそのまとめ役であると考えています。本校の場合、監督によるトップダウン方式よりも、ともに考え、ともに戦うというスタンスの方が選手個々の能力を生かせると考えたからです。そこで、選手の考えを少しでも理解できるように、「野球ノート」をつくり、日記形式で日々の練習や試合の感想や意見を交換しています。